

平成27年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社新東京グループ
(コード番号 6066 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 吉野勝秀
問合せ先 取締役管理部長 小野澤歩
T E L 047-383-7001
U R L www.mr-shintokyo.co.jp

当社連結子会社の火災事故に伴う特別損失の計上および平成28年5月期
連結業績予想に関するお知らせ

未公表でありました平成28年5月期の連結業績予想を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 平成28年5月期 通期(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-
今回発表予想 (B)	5,000	200	150	50	10.08
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(ご参考) 前期通期実績 (平成27年5月期)	5,406	166	110	48	9.74

(2) 平成28年5月期 第2四半期連結累計期間(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-
今回発表予想 (B)	1,945	12	△12	△82	△16.53
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(ご参考) 前期同期実績 (平成27年5月期 中間期)	2,463	7	△20	△31	△6.44

2. 概要

当社は平成28年5月期(平成27年6月1日～平成28年5月31日)の連結業績予想につきましては、平成27年7月2日、当社連結子会社である株式会社エコロジスタの柏工場において発生いたしました火災事故の影響により、合理的に算定することが困難であるため未定としておりましたが、当該事故の影響および最近の事業環境ならびに業績動向等を踏まえ、当予想を公表いたします。

環境プロデュース事業分野におきましては、当該事故により株式会社エコロジスタの柏工場が操業を一時休止しておりましたが、平成27年10月より一部稼働を再開、第4四半期からの全面稼働に向けて準備を進めております。この休業期間中の売上減少があるものの、当社連結子会社である新東京開発の白井工場におきまして積極的な業務改善の実施により大幅に生産性が向上し、収益の拡大を見込んでおります。

またマテリアル再生事業分野におきましては、平成27年7月より急激に鋼材価格が低下しており、売上減少を見込んでおりますが、当社連結子会社であるヨコヤマの取扱数量は順調に増加する予定であり、増益を見込んでおります。

以上の要因を踏まえ、平成28年5月期連結業績予想につきましては、前年対比、減収ではございますが、増益を見込んでおります。火災や相場の変動という一時的または外部要因はあるものの、当社のビジネス規模と領域は確実に拡大傾向にあり、当社の成長路線に変更はございません。

3. 特別損失の計上について

当社は平成28年5月期第1四半期累計期間において、火災事故により生じた固定資産の除却損失、分別されたマテリアルリサイクルおよびサーマルリサイクルできる荷物が焼失したことによる製造原価の増加等、直接被害額61百万円を特別損失として計上いたしました。また、復旧までの過程において発生する撤去費用、操業上のコスト増加等を第2四半期累計期間および第3四半期累計期間において特別損失に計上する見込みであります。

なお、当社はかかる損害に備えた保険を付保しておりますが、保険金の受取額は現時点において確定しておりません。

当社グループは、循環型社会の担い手としての責務を果たしつつ成長し続けることが重要と考えております。株主利益の最大化のため、引き続き業務に邁進してまいります。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上